

# 豪雪災害への対応に話題集中

# 日本共産党議員団が市政報告会



日本共産党議員団は先月29日、市民プラザを会場に、6月議会での様子や現在の市政の重要課題をお伝えし、市民のみなさんの要望などを聞く「市政報告会」を開催しました。

上野議員の進行で始まった会では、橋爪議員団長の挨拶に続いて3人の議員がそれぞれ論戦の様子などを報告し、参加したみなさんからそれらに対する率直なご意見や市政へのご要望などをいただきました。

話題の中心になったのは、今年の冬の豪雪とその対応です。猛暑に見舞われる季節になったとは言え、交通が遮断され、情報も届かない状況に追い詰められたあの豪雪の苦しさは忘れることができないことが、1人ひとりの発言からにじみ出ていました。

## 「一斉雪下ろしの段取りは

まず話題になったのは、高田地区の一斉雪下ろしです。

計画に当たっては、市民やその代表である町内会長のみなさんの一番の関心事は、雪下ろしの順序や排雪の路線、日程などです。9年前の大雪の際には、最初の除雪会議で業者も参加し、町内会長との間で詰めた打ち合わせができたとのことですが、今回は初めての2回の会議ともそうした打ち合わせが行われなかったと指摘されました。このことが、一斉雪下ろしの実施日の設定に影響した可能性もあります。

この点では、夏場のうちから豪雪にどう対応するかという段取りの訓練を積み重ねることが重要だとの指摘がありました。

また、一斉雪下ろしの際には、まず雁木のある大通りを排雪しないと、それにつながる脇道の排雪ができないにもかかわらず、その順に排

雪されなかったことが指摘され、「排雪の順序に関する認識が担当者にはいいのではないか」との疑問も出されました。

## 防災ラジオなど情報伝達は

次に話題になったのは、防災ラジオの活用の点です。高田地区や直江津地区では、雪に関する情報が防災ラジオでは提供されませんでした。13区では防災情報無線によって、道路除雪の状況やその計画が刻々と伝えられ、市民が見通しをもって行動することができたことが参加者から紹介されると、別の参加者からは「町内会からも市からも何の情報も無く、暗闇の中で自助を求められた。上越に来て5年目だが、こんなことが起きるのかと思った」と嘆く声が出され、「正確な情報の提供や市民の横の連絡状況について再度検証してほしい」との要望も出されました。

次に、交通が遮断される中で医療機関に行くことができない状況に追い込まれると、直接命が危なくなる」との意見は切実です。

民生委員をやっているという市民からは、「除雪費支援に関して、要支援者には市から直接電話が言ったようだが、民生委員にはその情報が遅れて伝わり、対応が混乱したケースがあった。個々の状況に合わせた多様な方法での連絡がほしい」との要望が出されました。また、災害救助法の適用に関して、問合せに応じた市の担当者によって回答が異なるなど、不正確な情報が出されたことが指摘されました。この点では、「正確な情報を文書で伝達してほしい」という切実な要望が出されました。

## 市による検証は

先月出された「大雪災害対応の検証（中間報告）」については、町内会長さ

ら、アンケートもその基になっていいますが、このアンケート結果はまだ町内会長さんたちに返されていません。その後、市の担当に確認したところ、結果は間もなく返されるとのこと。町内会長会などへの中間報告の説明会実施については検討中とのこと。

## 老木古木の心配なども

そのほかにも、「青田川の沿線には桜の老木や大木があり、一部は雪の重みで落下しているものがあった。次の災害の際にさらに落下する心配が無いのか検証すべきだ」「直江津地区では、交差点の除雪が行き届かず、中高生の通学に支障があったが、北出張所に伝えても、事情が飲み込めず対処されなかった。地域の雪事情に詳しい職員を配置すべきだ」などの指摘がありました。重要な指摘として、対処することが求められます。

また、「他の自治体では学校の屋上への太陽光発電設備の設置が話題になっているが、上越ではどうなっているのか。非常時の電源確保の上でも教育的効果の上でも重要ではないか」という指摘もありました。

さらに、小学生の交通死亡事故に関し、路上でのスケートボード遊びが後を絶たないことや、安全確保に関する意識向上が必要であることなどの意見も出され、行政としての対応の必要性も指摘されました。

最後に、平良木議員が貴重な意見への謝礼を含む挨拶を述べ、閉会しました。

## 上越保健所管内感染症発生状況

(7月30日現在)

PCR検査実施件数	13,608件 (前週+632)
管内陽性件数	172件 (前週+27)
上越市内陽性件数	138件 (前週+13)
陽性率	1.264% (前週1.112%)

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.718 2021年8月8・15日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田 (金谷区))